

歴史的街区における空間変容に関する研究

- 京都市中京区の町並み -

日大生産工(院) ○佐藤 裕介
日大生産工 宮崎 隆昌

1. まえがき

京都の歴史を見てみると794年の平安京遷都以来、都市は時代の流れと共に形態と機能を大きく変えながら発展し、現在の地域としての空間構造を形成してきたと考えられる。都の街路は朱雀御大路を中心軸として東西南北に碁盤の目のような格子状を基本とした。平安期に右京域の衰退により朱雀大路は縮小されていくが碁盤目の都市構造は残ることとなった。現在、京都の街路を抽象化すると碁盤目の直線的な街路により構成されているように見える。しかし、実際には大路、小路、路地にわたり部分的な右余曲折、幅変化が見られる（図 - 1）。それらの形成過程には起伏などの地形的要因、戦災や火災後の復興においての障害の発生や規制による影響、建物疎開などいくつかの仮説がたてられる。そのような京都市の秩序だった幾何的な平面プランにおいて部分ごとで計画されたかのように起こっている街路の曲折、突然の幅変化を「ずれ」「ゆがみ」と定義する。長期的時間を担う計画において空間変容は必然であり町レベルにおいて、その様々な要因と傾向を明らかにすることは今後さらに重要性を増すと考えられる。本稿では交差点のずれ、ゆがみの状況と町並みを構成する建築物のファサードのバリエーションにおいて調査・分析を行うことにより、町から建築単体までの変容の連続性、および空間変容そのものに対する考察を得ることを目的とした。

2. 研究方法

京都市中京区において寺町通り、丸太通り、烏丸通り、御池通りに囲まれた範囲を調査対象とした。（図 - 2）本稿では町に於ける空間の変容と町屋のファザード構成の変化との関係性を見ることとした。また、建築ファサードの変化の観察を目的とするため、伝統的なファザード構成を持つと思われる町屋に限らず町屋の変化プロセスにおける過渡的変容

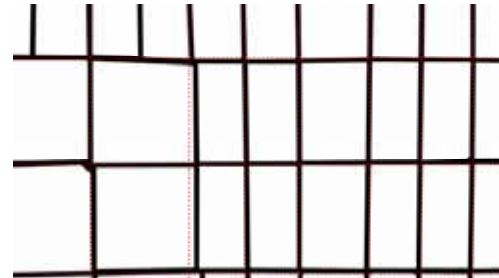


図 - 1 街路のゆがみ



図 - 2 研究対象地域

体であると考えられ、調査対象に含めることとした。以下の要素を一つでも持つものは、町屋的特徴をほぼ確認できなかったため省き、それ以外の建築物を全て分析対象とした。

- ・三層以上のファザード構成を持つ。（その層に於いて開口を持つ、その層に於いて道路に対して壁面を持つ）
- ・道路に対する勾配屋根を持たない。
- ・ファサード状況を確認できない。

本稿では2階のファザードについてのみ分析を行う。そのため、道路に面するファサードにおいて二階層を持たない場合についても省くこととした。

3. 町屋ファサードの分類

敷地内にあるうち268軒の町屋ファサードにおける2層部分を直接の観察により「開口部」「外壁」「その他」の3項目において分類分けを行った。開口部については66に

A Study of the Space Transformation a Historical Area.

- The City Street in Nakagyo, Kyoto -

SATO Yuusuke, MIYAZAKI Takamasa



図 - 3 2層部分における開口部のパターン

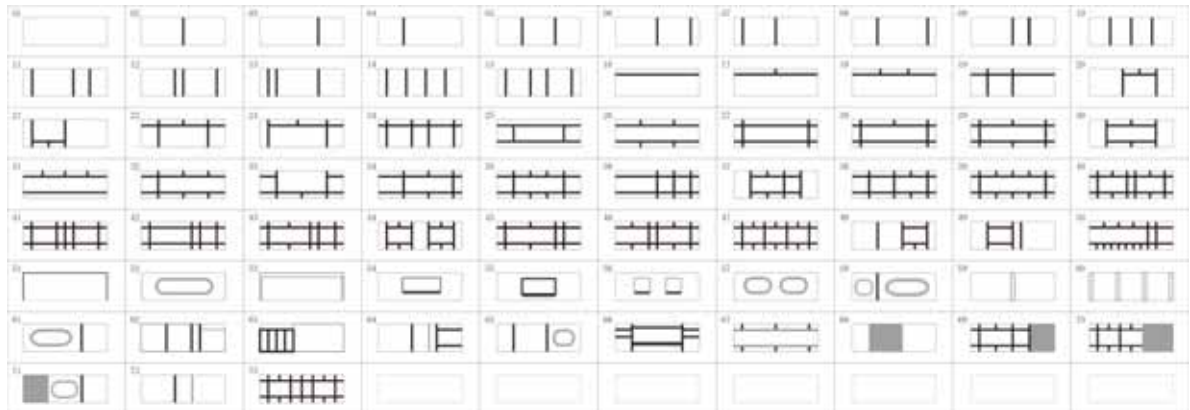


図 - 4 2層部分における外壁のパターン

表 - 1 対象となる建築と使われたパターン

no.	通り名	外壁	開口部	その他	no.	通り名	外壁	開口部	その他	no.	通り名	外壁	開口部	その他	no.	通り名	外壁	開口部	その他
1	車庫町通・西	1	3	4	68	18	5	7	135	29	3	0	202	39	29	1	19	0	0
2		52	3	3	69	32	24	0	136	39	34	1	203	53	39	5	3	0	0
3		34	/	3	70	67	3	3	137	53	19	3.8	204	1	19	0	3	0	0
4		34	4	1.3	71	17	4	5	138	38	24	3	205	29	3	0	3	0	0
5		1	2	2.6	72	17	4	1.3	139	27	2	3	206	29	3	0	3	0	0
6		29	3	3	73	5	0	0	140	46	35	3	207	8	34	0	3	0	0
7		27	2	0	74	28	3	2	141	62	6	1.3	208	1	4	3	3	0	0
8		22	9	1	75	53	9	3	142	1	9	3	209	14	4	9	3	0	0
9		39	3	5	76	7	9	7	143	53	3	3	210	10	3	0	3	0	0
10		51	7	5	77	29	3	0	144	1	35	0	211	1	38	3	3	0	0
11		48	7	3	78	27	2	0	145	1	20	7	212	6	10	0	3	0	0
12		53	3	2	79	45	25	0	146	6	10	0	213	51	3	3	3	0	0
13		1	3	1	80	54	3	6	147	59	28	4.6	214	6	34	0	3	0	0
14		1	3	0	81	29	3	0	148	59	19	7.10	215	6	35	0	3	0	0
15		1	3	0	82	39	4	3	149	1	3	4	216	6	35	3	3	0	0
16	車庫町通・東	21	9	0	83	51	19	6	150	16	4	4	217	29	3	0	3	0	0
17		64	65	0	84	1	16	7	151	1	26	7	218	51	3	6	3	0	0
18		57	12	0	85	52	1	0	152	51	29	0	219	10	46	3	3	0	0
19		5	13	0	86	35	4	0	153	29	3	0	220	10	62	1	3	0	0
20		11	14	3	87	1	19	6.7	154	29	3	3	221	29	3	0	3	0	0
21		1	15	3	88	30	10	0	155	29	3	3	222	19	2	1	3	0	0
22		1	16	0	89	27	2	1	156	27	2	7	223	10	59	0	3	0	0
23		29	3	0	90	1	0	0	157	1	16	4	224	10	3	3	3	0	0
24		1	17	3.8	91	15	19	3	158	1	2	0	225	51	3	2	3	0	0
25		57	19	6	92	6	26	0	159	1	0	0	226	1	19	4	3	0	0
26		51	16	0	93	4	19	0	160	34	4	1	227	10	24	0	3	0	0
27		29	3	3	94	1	1	0	161	65	9	0	228	10	43	0	3	0	0
28		15	19	4	95	1	3	0	162	1	3	3	229	29	29	5.7	3	0	0
29		7	6	0	96	29	3	7	163	1	3	0	230	29	3	0	3	0	0
30		1	3	0	97	4	26	0	164	51	2	3	231	10	29	3	3	0	0
31		1	3	0	98	29	3	8	165	1	19	0	232	10	3	3	3	0	0
32		1	17	0	99	1	2	4.8	166	1	2	0	233	1	44	0	3	0	0
33		30	3	0	100	1	27	8	167	29	3	0	234	1	16	0	3	0	0
34		1	8	0	101	3	8	1.8	168	32	24	0	235	1	3	3	3	0	0
35		60	20	7	102	11	4	2.8	169	70	19	0	236	29	3	4	3	0	0
36	東月院通・西	1	3	6	103	29	3	3	170	16	3	3	237	39	29	4	3	0	0
37		1	3	3	104	29	3	3	171	39	3	3	238	24	19	0	3	0	0
38		1	0	7	105	1	4	8	172	1	24	3	239	1	3	3	3	0	0
39		29	3	3	106	42	16	3	173	15	4	3	240	45	3	0	3	0	0
40		29	3	7	107	1	3	3.8	174	1	4	1.3	241	29	3	0	3	0	0
41		52	3	3	108	47	28	4	175	51	19	10	242	27	2	7	3	0	0
42		4	66	3	109	61	18	0	176	7	2	3	243	27	2	3	3	0	0
43		52	10	0	110	1	29	0	177	1	1	0	244	29	3	7	3	0	0
44		1	2	7	111	1	1	0	178	52	3	0	245	14	28	4	3	0	0
45		4	21	0	112	51	19	0	179	53	19	3	246	7	17	3	3	0	0
46		29	3	0	113	1	30	0	180	29	3	0	247	7	17	0	3	0	0
47		34	3	1.3	114	1	19	0	181	30	3	0	248	54	2	0	3	0	0
48	東月院通・東	29	3	0	115	1	6	0	182	1	3	6	249	10	3	10	3	0	0
49		29	3	0	116	1	3	0	183	1	0	0	250	29	3	0	3	0	0
50		7	22	0	117	1	32	0	184	69	9	1.310	251	29	3	1	3	0	0
51		3	/	0	118	1	3	0	185	51	3	7	252	29	3	0	3	0	0
52		1	3	0	119	1	3	1	186	51	29	0	253	51	19	13	3	0	0
53		1	11	7	120	29	3	8	187	6	37	4	254	29	3	0	3	0	0
54		50	11	0	121	2	1	0	188	27	2	1	255	29	3	0	3	0	0
55	間之町通・西	1	0	0	122	5	2	0	189	66	3	4.6	256	18	3	9	3	0	0
56		1	2	0	123	1	2	3	190	51	19	6	257	45	16	0	3	0	0
57		5	21	0	124	1	1	9	191	39	36	0	258	10	3	0	3	0	0
58		22	3	1	125	1	3	8	192	1	3	0	259	10	3	0	3	0	0
59		54	3	6	126	1	24	0	193	29	3	1	260	10	3	1.3	3	0	0
60		29	3	1	127	29	3	9	194	1	3	1	261	1	20	0	3	0	0
61		27	3	3	128	49	19	0	195	1	29	8	262	51	3	3	3	0	0
62		1	4	4	129	27	3	3	196	1	1	0	263	29	3	1	3	0	0
63		5	2	0	130	54	2	6	197	43	16	3	264	10	3	0	3	0	0
64	間之町通・東	51	19	0	131	3	65	7	198	1	20	0	265	37	14	3	3	0	0
65		29	3	1	132	3	33	0	199	1	10	0	266	1	29	0	3	0	0
66		23	23	0	133	1	1	0	200	1	22	0	267	1	3	0	3	0	0
67		29	3	3	134	2	/	0	201	1	2	7	268	10	3	0	3	0	0

分類、外壁については73の分類わけを行った。なお「その他」とは1：雨戸、2：雨戸2箇所、3：手すり、4：格子（外付け）、5：ベランダ、6：庇、7：1層部分の看板建築化による2層部分への突出、8：うだつ、9：小出窓、10：簡易ルーフ、11：シャッターである。結果から、2階部位には非常に多様なファサードパターンが使われていることがわかる。しかし、その中で突出して多く使われているパターンが存在していることがわかった。開口部では3番が101軒と一番多く使われていた。またつづいて2番、19番も20件以上使われていることがわかった。外壁では1番のパターンが多く使われており81軒、29番が41軒、51番が16軒という結果が出た。おそらくこれらが町屋の原形に近いファサード構成を取っているのではないかと推測された。比較的新しく設計された建築やコンバージョンされた町屋などはその段階でファサードに独自のものが生まれてきてしまうのかもしれない。この結果から、町の中で更新の早い地域と更新の遅い地域が存在するのではないかとこの考察が得られた。そのため、以降ではファサードと街区レベルでの空間変容との接点を模索し考察を行っていくこととする。

4. 交差点におけるゆがみ

それぞれの小路において交差点から交差点までを一つの単位として始点、終点まで線を引いた。その線をさらに交差点まで延長し、それによりできる二重図形の面積比率の多寡によりにより評価を行った(図 - 5)。なお、十字路でない交差点は分析不可として研究対象から外した。対象敷地内のすべての交差点における分析結果を右にまとめた(図 - 6)。

4.1. 丸太町通～御池通間

寺町通り、丸太通り、烏丸通り、御池通りに囲まれた区間において、ゆがみはほとんど見られない(図 - 7)。特に夷川通との交点では顕著にあらわれる。また、二条通との交点は評価が大きく分かれるという特徴を持っている。しかし、ほとんどの交差点が0.7～0.9の高い数値を示している。一方で部分的にずれ、ゆがみが大きくなっている個所がある。東洞院通×二条通、柳馬場通×竹屋町通、富小路通×竹屋町通、御幸町通×押小路通などは0.4～0.6の低い数値を出している。今のところ柳馬場通×竹屋町通、富小路通×竹屋町通間では京都地方裁判所、私立御所南小学校の存在が影響しているのではないかと推測している。

5. 通りごとのファサードの種類数とゆがみ

交差点ごとに得られたゆがみによりファサードとの関係性を評価するため、数値を与えることとした。通りを挟む交差点同士の平均値により通りに数値を与えた。(図 - 8)その結果次のことが得られた。開口部、外壁どちらのパターンも同じような比率で分布することがわかった。1になるか0.5～0.8に集中する結果となった。項目ごとに中心線をとると開口部はやや右下がり分布し、外壁はやや右上がり分布していることがわかった。

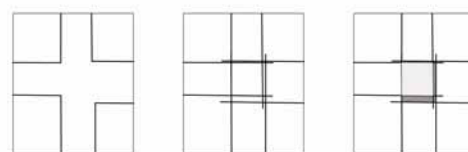
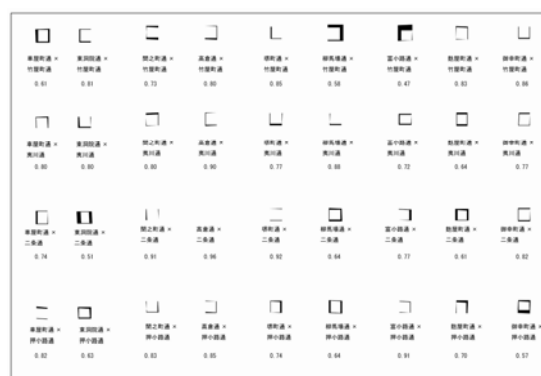


図 - 5 交差点ゆがみ調査



丸太町通 × 室町通 × 烏丸通 × 寺町通

図 - 6 交差点のゆがみ

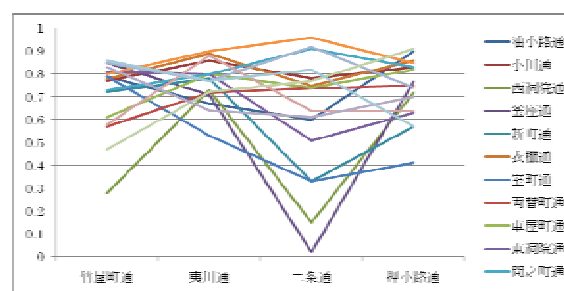


図 - 7 交差点のゆがみグラフ

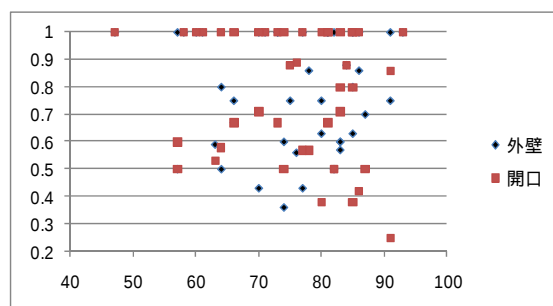


図 - 8 種類/件数とゆがみ

6.2 項目とゆがみの比較

6.1 開口とゆがみ

パターンごとに得られたデータ数が大きく異なったが、グラフから軒数が多いパターンほどずれ、ゆがみの数値が75に集中している、これはパターンの一般性が高くなるごとに数値75に近づくのではないだろうか。

6.2 外壁とゆがみ

グラフを見ると中心軸が70～75の間にあるものの、パターンごとのゆがみ平均値はそれぞれ大きく異なり、上下することがわかる。その中で、上段と下段というように層が発生しているのではないかと推測される。冗談は80～75を中心軸とし下段は67～55の間に中心軸を持っているように思われる。

6.3 開口と外壁のパターンの比較

開口部と外壁のパターンを比較してみると、開口部に比べて外壁のパターンは全体のゆがみ平均値はほとんど同じであるが、比較的広い分布を持つように思われる。またパターンごとの件数を比較してみると、開口部では1つのパターンが突出しているのに対し、外壁は2つのパターンの突出が見られた。

7. まとめ

町屋のファサードと町に広がるずれ、ゆがみとの関係性を探ることを目的とし、調査・分析を行ってきた。町屋の2階ファサードパターンについては非常に多くのものが現れた。それについては1階に比べてアイラインの届かない2階の方は多様であるなど、町屋ファサードに関する考察は過去に幾度となく行われている中で確認していた。今回は、町屋の変容体に関しても調査を行ったが、その中では改修され簡易な形状に落ち着いたもの、通り側の壁面のみをフラットな表層にするという看板化が多くみられた。交差点のゆがみと種類/件数の比較では開口、外壁とも散在した結果となった。その中で同じパターンが連続で続く通りが何箇所も見られた。しかし、ゆがみとの関連性は見られなかった。パターンごとに割り振ったゆがみ値と種類、件数の比較では開口と外壁とで特徴が異なるというデータが得られた。今回の対象敷地ではゆがみがあまり見られず、ほとんどが高い水準を示すため、建築物との関連性についてはあまり見ることはできなかった。しかし、ある程度は建築物との関連性を示すというデータは得られた。今後さらに対象範囲を拡大し、考察を行っていきたい。

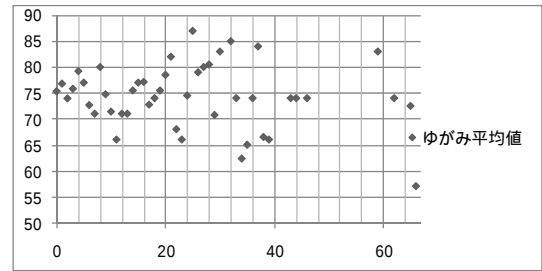


図 - 8 開口パターンごとのゆがみ平均

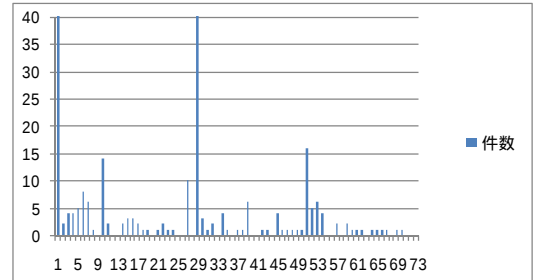


図 - 9 開口パターンの種類と件数

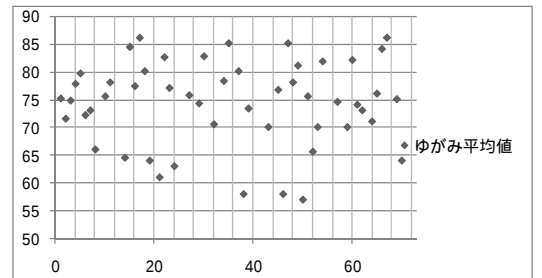


図 - 10 外壁パターンごとのゆがみ平均

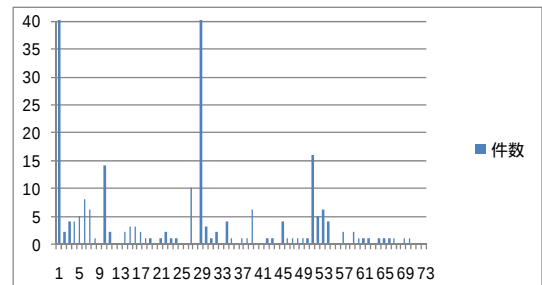


図 - 11 外壁パターンの種類と件数

「参考文献」

- 1) 丸山俊明：「京都の町家と町なみー何方を見申様に作る事、堅仕間敷事」昭和堂 2007
- 2) 西川幸治 高橋徹：「京都千二百年（上）平安京から町衆の都市へ」草思社 1997
- 3) 西川幸治 高橋徹：「京都千二百年（下）世界の歴史都市へ」草思社 1999
- 4) 斉藤吉雄：「コミュニティ再編成の研究」御茶の水書房 1979
- 5) 金田章裕：「平安京—京都 都市図と都市構造」京都大学学術出版会 2007
- 6) 川崎清 小林正美 檜山 知則：「京都の伝統的町屋のファサード構成に関する研究」
- 7) 川崎清 小林正美 藤田勝浩：「京都の伝統的町並みのデザインに関する研究」
- 8) 濱橋正 三村浩史 伊孝鎮 橋本勇 伊沢はる リムボン：「京都の都心地区における町屋・町並みの保存と継承に関する研究」